

Google 利用規約（抜粋）

Google 利用規約は以下の URL からご確認ください。「定期契約商品」および「ケーブルプラス STB-2」に関わる主な事項の抜粋を記載します。Google アカウントを取得して利用する場合の項目は記載しておりませんので、アカウント取得時にご確認ください。

Google ポリシーと規約 <https://policies.google.com/>

ユーザーは、本サービスを利用することにより、本規約に同意することになります。以下を注意してお読みください。

Google 利用規約

発効日: 2024 年 5月22日

サービス提供者

Google サービスの提供者およびユーザーとの契約者は以下の法人となります。

Google LLC

米国デラウェア州の法律に基づいて設立され、米国の法律に基づき運営される法人

1600 Amphitheatre Parkway

Mountain View, California 94043

USA

年齢に関する要件

ユーザーが自分で Google アカウントを管理するための年齢要件を満たしていない場合、Google アカウントを使用するには親または保護者の方の許可を得なければなりません。本規約を、親または保護者の方と一緒に読んでください。

親または保護者の方がお子様のサービスの利用を許可する場合、本規約はその親または保護者の方に適用され、サービス利用時のお子様の行動について責任を負うこととなります。

一部の Google サービスには追加の年齢要件が設けられており、それぞれのサービス固有の追加規約およびポリシーにその旨が記載されています。

ユーザーと Google の関係

本規約は、ユーザーと Google の関係を定義するためのものです。「Google」とは、Google LLC およびその関連会社を意味します。大まかに言う、Google は本規約を遵守することに同意したユーザーに Google へのアクセスおよびサービスの利用を許可します。本規約には、Google のビジネスの仕組みと収益を生み出す方法が反映されています。

Google サービスの開発、改善、更新

Google ではサービスの向上を目的として、新しい技術や機能の開発に常に取り組んでいます。たとえば、人工知能や機械学習を利用して同時通訳を可能にしたり、スパムやマルウェアの検出機能およびブロック機能を向上させたりしています。Google ではさらなる改善を目指して、さまざまな機能の追加や削除、サービスの制約の増減、新しいサービスの提供や古いサービスの終了などを適宜行っております。サービスがダウンロード可能なソフトウェアまたはプリロードされたソフトウェアを必要とする、または含んでいる場合、新バージョンまたは新機能が入手可能になると、そのソフトウェアはユーザーのデバイス上で自動的に更新されることがあります。一部のサービスでは、ユーザーが自動更新の設定を調整できます。

ユーザーの Google サービスの利用に悪影響を及ぼす重大な変更を行う場合、またはサービスの提供を終了する場合、Google はユーザーに対して合理的な事前の通知を行います。ただし、不正行為の防止、法的要件に対応する必要がある、またはセキュリティや運営上の問題に対処する必要があるなどの緊急時は除きます。また、こうした場合、適用される法律およびポリシーを条件として、Google データ エクスポートを使用して Google アカウントからユーザーのコンテンツをエクスポートする機会を提供します。

Google がユーザーに期待すること

本規約、およびサービス固有の追加規約の遵守

Google のサービスへのアクセス、利用のための許可は、ユーザーが以下の規約を遵守している間は提供されます。

- 本規約
- サービス固有の追加規約（追加の年齢要件など）

また Google は、各種ポリシー、ヘルプセンター、およびその他のリソースを公開し、一般的な質問に答えるとともに、サービスの利用に関してユーザーに期待することを規定しています。これらのリソースには、プライバシー ポリシー、著作権ヘルプセンター、セーフティ センター、透明性センター、および Google のポリシーサイトからアクセスできるその他のページが含まれます。さらに、ダイアログ ボックスで重要な情報を知らせるなど、Google サービス内で具体的な手順や警告を提供することもあります。

Google は Google サービスの利用をユーザーに許可しますが、サービス内で Google が所有するすべての知的所有権は Google が保持します。

他者の尊重

すべてのユーザーが互いを尊重し合う環境を維持するため、以下に挙げる行動についての基本ルールを遵守してください。

- 適用される法律（輸出管理、制裁措置、人身売買に関する法律を含む）を遵守する
- プライバシーに関する権利や知的財産権などの、他者の権利を尊重する
- 他者または自分自身に被害をもたらす行為（虚偽情報の提供、詐欺、違法ななりすまし、名誉毀損、いじめ、嫌がらせ、ストーキングなど）や、こうした行為をほめかす脅迫、またはこうした行為の助長を行わない

Google のサービス固有の追加規約とポリシー（生成 AI の使用禁止に関するポリシーなど）は、そのサービスを利用するすべてのユーザーが遵守しなければならない適切な行動に関する追加情報を提供します。Google のサービスの多くでは、他のユーザーがこれらのルールに違反していることに気付いた場合に、不正行為を報告できるようになっています。

Google が不正行為の報告に対処する場合は、問題が発生した場合の措置のセクションに沿って公正に手続きします。

サービスの不正使用の禁止

Google のサービスにアクセスまたはサービスを利用するユーザーのほとんどは、インターネットを安全かつオープンなものにするための一般的なルールを理解していますが、残念ながら、ごく一部ですがルールを尊重しないユーザーもいます。そのため、Google のサービスとユーザーを不正使用から守るためにここでそのルールについて説明します。一般的なルールは次のとおりです。

Google のサービスまたはシステムを不正に使用する、妨害する、破壊する、サービスまたはシステムに損害を与えることをしてはなりません。以下に例を示します。

- マルウェアの投入
- システムや保護対策に対するスパム行為、ハッキング、または回避
- ジェイルブレイク、敵対的なプロンプト、プロンプト インジェクション（安全性やバグのテスト プログラムに含まれる場合を除く）
- 以下のような、不正なまたは虚偽の方法でのサービスやコンテンツへのアクセスもしくは使用

- フィッシング
- 偽のレビューなど、偽のアカウントやコンテンツの作成
- 生成 AI のコンテンツを人間が作成したものであると誤解させる行為
- 実際には Google のサービスであるのにユーザー（または他のユーザー）のもののように見せるサービスの提供
- Google のサービスではないのに Google のもののように見せるサービスの提供
- 知的財産権やプライバシーの権利など、他者の法的権利を侵害することを目的とした、Google のサービスの使用（サービスが提供するコンテンツを含む）
- 適用される法律によって許可される場合を除き、企業秘密などの所有する情報を抽出することを目的とした、機械学習モデルなど、Google のサービスや基盤となる技術のリバース エンジニアリング
- Google のウェブページの機械可読な指示（クロール、トレーニグなどのアクティビティを禁止する robots.txt ファイルなど）に違反する、Google のいずれかのサービスのコンテンツにアクセスすることを目的とした自動化された手段の使用
- 利用規約に違反するための身元の隠蔽または不実表示
- 他者に本規約の違反を促すサービスの提供

ユーザーのコンテンツに対する使用許可

Google の一部のサービスは、ユーザーのコンテンツをユーザー自身がアップロード、保存、送信、受信、共有できるように設計されています。ユーザーは、Google サービスにコンテンツを提供する義務を負うものではなく、提供したいコンテンツを自由に選ぶことができます。コンテンツをアップロードまたは共有する場合は、そのために必要な権利を自分が有していること、およびそのコンテンツが合法であることをご確認ください。

ライセンス

ユーザーのコンテンツはユーザーに帰属します。つまり、コンテンツに含まれるユーザーの知的所有権はすべてユーザーが保持します。たとえば、ユーザーが書いたレビューなど、ユーザーが作成した独創的なコンテンツの知的所有権はユーザーが保持します。また、誰かが作成した独創的なコンテンツも、その人の許可があれば共有する権利を保持できる場合があります。

ユーザーの知的所有権により Google によるユーザーのコンテンツの使用が制限される場合、Google はユーザーから使用許可を得る必要があります。ユーザーは、このライセンスを通じて Google に使用許可を与えるものとします。

適用対象

このライセンスは、ユーザーのコンテンツが知的所有権によって保護されている場合は、そのコンテンツに適用されます。

適用対象外

- このライセンスは、ユーザーの知的所有権のみを対象としており、ユーザーのプライバシーの権利には影響しません。
- このライセンスは、以下の種類のコンテンツには適用されません。
 - ユーザーが提供する、一般に公開されている事実情報（ローカルビジネスの住所の訂正など）。こうした情報は、誰でも無料で利用できる一般的な情報と見なされるため、ライセンスは必要ありません。
 - ユーザーが提供するフィードバック（Google のサービスを改善するための提案など）。フィードバックについては、下記のサービスに関連するコミュニケーションのセクションで説明します。

範囲

このライセンスは以下の性質を備えています。

- 全世界的であり、世界のあらゆる場所において有効である
- 非独占的であり、ユーザーは自分のコンテンツのライセンスを他者に供与できる
- 無償であり、このライセンスの金銭的な使用料は発生しない

権利

このライセンスにより、Google に以下のことが許可されます。

- ユーザーのコンテンツをホスト、複製、配布、伝送、使用すること（たとえば、コンテンツを Google のシステムに保存してユーザーがどこからでもアクセスできるようにするため）
- ユーザーのコンテンツが他の人に公開するように設定されている場合は、それを出版、公演、上映、（公開）表示すること
- ユーザーのコンテンツに修正（形式の変更、翻訳など）を加えて二次的著作物を作成すること
- これらの権利を以下に再許諾すること
 - 他のユーザー（ユーザーが選択した人々と写真を共有できるようにするなど、サービスを設計どおりに機能させられるようにするため）
 - Google との間で本規約と矛盾しない契約を締結した請負業者（以下の目的のセクションに記載されている限定的な目的のみが対象）

目的

このライセンスは、以下の目的に限定して適用されます。

- サービスを運営し改善するため。つまり、サービスを設計どおりに機能させ、新しい機能や機能性を作成することを可能にするために適用されます。これには、自動化されたシステムやアルゴリズムを使用してユーザーのコンテンツを分析することも含まれます。
 - スパム、不正なソフトウェア、および違法なコンテンツを検出するため
 - データのパターンを認識するため（たとえば、関連する写真をまとめることを目的に、Google フォトで新しいアルバムを提案するタイミングを判断するため）
 - おすすりめ情報を表示する、カスタマイズした検索結果やコンテンツ、広告などを表示するといった目的で、Google のサービスを個々のユーザーに合わせてカスタマイズするため（広告のカスタマイズについては、広告設定で変更またはオフにできます）

この分析はコンテンツが送信、受信、および保存されたときに発生します。

- ユーザーが一般公開で共有したコンテンツをサービスの宣伝に使用するため。たとえば、Google のアプリを宣伝するために、ユーザーが書いたレビューを引用することがあります。また、Google Play を宣伝するために、ユーザーが提供した、アプリのスクリーンショットを Play ストアに表示することがあります。
- 本規約に準拠する形で、Google 向けの新しい技術およびサービスを開発するため。

期間

このライセンスは、ユーザーのコンテンツが知的所有権によって保護されている限り継続します。

- このライセンスが適用されるコンテンツをユーザーが Google のサービスから削除した場合、Google のシステムは合理的な期間内にそのコンテンツの公開を停止することとします。ただし、次の 2 つの例外があります。
 - ユーザーのコンテンツが削除される前に、ユーザーがそのコンテンツをすでに共有していた場合。たとえば、ユーザーが写真

Google 利用規約（抜粋）

を共有した友人がそのコピーを作成して再度共有した場合、その写真は、ユーザーが自分の Google アカウントから削除した後も、友人の Google アカウントに引き続き表示される可能性があります。

- ユーザーのコンテンツが他の企業のサービスを通じて公開されている場合、Google 検索などの検索エンジンによって、引き続きユーザーのコンテンツが検索結果の一部として検出および表示される可能性があります。

Google サービスの使用

ユーザーの Google アカウント

これらの年齢要件を満たしている場合は、Google アカウントを作成して利便性を高めることができます。一部のサービスを機能させるためには、Google アカウントが必要になります。たとえば Gmail を使用するには、メールを送受信する場所を確保するために Google アカウントが必要となります。

ユーザーは、Google アカウントで行うことに責任を負います。これには、Google アカウントを安全に維持するために合理的な措置を講じることも含まれるため、定期的にセキュリティ診断を使用することをおすすめします。

サービスに関連するコミュニケーション

Google はサービスを提供する目的で、サービスに関するお知らせやその他の情報をユーザーに送信することがあります。Google からユーザーへの連絡の方法について詳しくは、Google のプライバシーポリシーをご覧ください。ユーザーから Google にフィードバック（Google サービスを向上させるための提案など）が提供された場合、Google は、ユーザーに対する義務を負うことなく、そのフィードバックを利用することができます。

Google サービス内のコンテンツ

Google のコンテンツ

Google のサービスの一部には、Google に帰属するコンテンツが含まれています。たとえば、Google マップに表示される多くのイラストは Google に帰属します。ユーザーは Google のコンテンツを本規約およびサービス固有の追加規約で許可される範囲内で使用できますが、コンテンツに対して Google が所有するすべての知的所有権は Google が保持します。いかなるブランド表示、ロゴ、法的通知も、削除したり、隠したり、改ざんしたりしてはなりません。Google のブランド表示やロゴを使用したい場合は、Google Brand Permissions（Google ブランドの使用許諾について）のページをご覧ください。

その他のコンテンツ

最後に、Google サービスの中には、他の個人または組織に帰属するコンテンツ（店舗オーナーによるその事業の説明、Google ニュースに表示される新聞記事など）にアクセスできるものがあります。ユーザーは、法律により許可されている場合を除き、当該個人または組織の許可なくこのコンテンツを使用することはできません。他の個人または組織のコンテンツで表明されている見解はその個人または組織のものであり、必ずしも Google の見解を反映するものではありません。

Google サービス内のソフトウェア

Google のサービスによっては、ダウンロード可能なソフトウェアまたはプリロードされたソフトウェアが含まれている場合があります。

Google は、そのサービスの一部として当該ソフトウェアを使用することをユーザーに許可します。

Google がユーザーに与えるライセンスは以下の性質を備えています。

- 全世界的であり、世界のあらゆる場所において有効である
- 非独占的であり、自分のコンテンツのライセンスを他者に供与できる
- 無償であり、このライセンスの金銭的な使用料は発生しない
- 個人的であり、他者に影響が及ぶことはない
- 譲渡不可であり、他者にライセンスを譲渡することはできない

Google の一部のサービスには、オープンソース ライセンス規定に基づいてユーザーに提供しているソフトウェアが含まれています。オープンソース ライセンスには、本規約の一部を明示的に上書きする条件が規定されている場合があるため、必ずそれらのライセンスを確認してください。

ユーザーは、Google のサービスまたはソフトウェアのいかなる部分も、複製、変更、配信、販売、貸与することはできません。

問題または意見の相違がある場合

法律と本規約より、ユーザーは（1）一定のサービス品質、および（2）正常に機能しない場合に問題を解決する方法について権利を有します。

保証

Google は、相応の技術と注意をもってサービスを提供します。この保証に記載された品質レベルが満たされていない場合、ユーザーはそれについて Google に伝え、Google はユーザーと協力して問題の解決を試みるものとします。

免責

Google が、Google のサービス（サービス内のコンテンツ、サービスの特定の機能、その信頼性、利用可能性、またはユーザーのニーズに応える能力を含む）について約束するのは、（1）保証のセクションに記載されている内容、（2）サービス固有の追加規約に規定されている内容、および（3）本規約に優先して適用される法律が規定する内容のみです。

医学上、法律上、財務上、またはその他の専門的な助言として、本サービスを信頼しないでください。これらのトピックに関するコンテンツは情報提供のみを目的としており、資格を持つ専門家の助言に代わるものではありません。

法的責任

対象者： すべてのユーザー

問題が生じた際にユーザーまたは Google が主張できる内容は、適用される法律と規約の両面から判断されます。一部の法的責任に限り、法律で規約によってすべてのユーザーに責任が義務付けられているのはそのためです。

本規約は、適用される法律によって許可されている限りにおいて Google の責任を制限します。本規約が、以下について法的責任を制限することはありません。

- 不正行為、詐欺的な不実表示
- 過失に起因する死亡または人身傷害
- 重過失
- 意図的な違法行為

上記の場合を除き、Google は適用される法律によって許可されている限りにおいて、本規約または適用されるサービス固有の追加規約に対する Google の違反についてのみ法的責任を負います。

問題が発生した場合の措置

Google は、下記の措置を講じる前に、ユーザーに対して合理的に可能な限り事前の通知を行い、措置を講じる理由を説明し、問題を明確にして対処する機会をユーザーに提供するものとします。ただし、そうすることが以下の事態につながると Google が合理的に判断した場合を除きます。

- ユーザー、第三者、または Google に損害または法的責任が及ぶ
- 法律または法執行機関の命令に違反する
- 調査に支障をきたす
- Google のサービスの運用、完全性、セキュリティに支障をきたす

ユーザーによる Google サービスへのアクセスの一時停止または停止

Google は、次のいずれかに該当する場合、他のいずれの権利も制限することなく、ユーザーによるサービスへのアクセスを一時停止もしくは停止する権利、またはユーザーの Google アカウントを削除する権限を有します。

- ユーザーが本規約、サービス固有の追加規約またはポリシーに著しくまたは繰り返し違反した場合
 - 法的要件または裁判所命令に従って Google がそうした対応をとる必要がある場合
 - ユーザーの行動（ハッキング、フィッシング、嫌がらせ、スパム行為、虚偽情報の提供、他のユーザーに帰属するコンテンツの無断複製など）が、特定のユーザー、第三者、もしくは Google に損害を与えた、または法的責任を発生させた
- と Google が合理的に確信できる場合

Google がアカウントを無効にする理由、およびその結果について詳しくは、このヘルプセンターのページをご覧ください。ユーザーは自身の Google アカウントが誤って停止または終了されたと考える場合に異議を申し立てることができます。もちろん、ユーザーはいつでも自由に Google サービスの使用を停止できます。サービスの利用を停止する場合は、ぜひその理由をお聞かせください。今後のサービス向上に役立てさせていただきます。

紛争の解決、準拠法、および管轄裁判所

Google との連絡方法に関する情報についてはお問い合わせページをご覧ください。

本規約、サービス固有の追加規約、または関連するすべてのサービスに起因または関連して生じた紛争には、抵触法の規定に関係なく、カリフォルニア法が適用されるものとします。これらの紛争は、アメリカ合衆国カリフォルニア州サンクトラ郡郡内に所在する裁判所においてのみ解決できるものとし、ユーザーと Google はその裁判所の対人管轄権に同意するものとします。

適用される現地の法律により、これらの紛争をカリフォルニア州の裁判所において解決できない範囲で、ユーザーの居住地地域の裁判所に当該紛争を申し立てることができます。同様に、適用される現地の法律により、ユーザーの居住地地域の裁判所においてこれらの紛争の解決にカリフォルニア法を適用できない範囲で、当該紛争はユーザーの国、州、またはその他居住地域に適用される現地の法律に準拠するものとします。

本規約について

法律により、ユーザーは、本利用規約のような契約では制限できない一定の権利を有しています。本規約は、そうした権利を制限することを意図するものではありません。

本規約は、ユーザーと Google との関係の規定するものです。本規約に基づく両者の関係から利益を受ける第三者が存在する場合でも、本規約によりかかる第三者の個人または組織に対する法的権利が生じることはありません。

本規約をわかりやすく説明するために、Google のサービスを例として使用しています。ただし、ユーザーが居住する国において、例示されているすべてのサービスが利用できるとは限りません。

本規約とサービス固有の追加規約に矛盾がある場合、追加規約が適用されます。ある特定の規定が無効または強制執行不可能であることが判明した場合であっても、そのことは他のいずれの規定にも影響を及ぼすものではありません。

ユーザーが本規約またはサービス固有の追加規約を遵守しない場合に、Google が直ちに法的措置を講じないことがあったとしても、そのことによって、Google が有している権利（たとえば、将来において、法的措置を講じる権利）を放棄しようとしていることを意味するものではありません。

Google は、次の場合に本規約およびサービス固有の追加規約を更新することがあります。（1）Google サービスの変更、または Google の業務上の変更（たとえば Google がサービス、機能、技術、価格、特典などを新しく追加、もしくは従来ものを削除した場合）を反映するため。（2）法律、規制、またはセキュリティ上の理由のため。（3）不正または危険な行為を防ぐため。

本規約またはサービス固有の追加規約に重大な変更を加える場合は、合理的な事前の通知を行い、ユーザーが大幅な変更について確認する機会を提供するものとします。ただし、（1）新サービスまたは新機能をリリースする場合、および

（2）緊急時（進行中の不正行為を止める必要がある場合、法的要件に対応する必要がある場合など）は除きます。ユーザーは新しい規約に同意しない場合、自身のコンテンツを削除してサービスの利用を停止するものとします。また、ユーザーは Google アカウントを閉鎖することにより、いつでも Google との関係を終了させることもできます。

au ID 利用規約

2019年6月24日「Wow!ID」を「au ID」に名称変更しました。Wow!ID会員は以後、au ID会員として本規約の定めるところに従いau IDをご利用頂きます。

第1章 総則

第1条 総則

KDDI株式会社（以下「当社」といいます）は、ID利用規約（以下「本ID規約」といいます）に基づき、au IDを提供します。

本ID規約は、au IDを取得したお客様（回線登録ID又は回線非登録IDを保有するお客様をいい、以下「au ID会員」といいます）がau IDを利用する際の一切に適用されます。au ID会員は、本ID規約を遵守して頂くものとします。

当社は、au IDに関し、「ご利用上の注意」その他のガイドライン等を制定する場合があります。この場合au ID会員向けに提供されるWebサイト（以下、「au IDサイト」といいます）内に記載している内容は、本ID規約の一部を構成するものとします。

当社は、民法の定めに従い、本ID規約の内容を変更することがあります。この場合、au IDの利用条件は、変更後の本ID規約によるものとします。なお、当社は、変更後の本ID規約及びその効力発生時期を、au IDサイト等その他相当の方法で周知するものとし、変更後の本ID規約は、当該効力発生時期が到来した時点で効力を生じるものとします。

au IDのご利用にあたっては、本ID規約に同意頂く必要があります。本ID規約は当社等サービスをWebページやアプリケーションで利用する際にau IDの取得、変更時（第3条）及びau IDにより提供される諸機能（第4条第1項）にて表示されます。ご利用の前に必ず本ID規約をご確認いただき、同意のうえ、本ID規約に従ってご利用ください。

第2条 定義

回線登録ID：当社が、au ID会員の締結している通信サービス等契約と紐付けて管理しているau ID

回線非登録ID：当社が、au ID会員の締結している通信サービス等契約と紐付けて管理していないau ID

通信サービス等：通信サービス及び電気サービス、並びに都市ガス料金立替払いサービスの総称

通信サービス：当社と沖縄セルラー電話株式会社（以下、併せて「当社等」といいます）がau（WIN）通信サービス契約約款、au（LTE）通信サービス契約約款、au（5G）通信サービス契約約款に定めるau通信サービス（以下、総称して「au通信サービス」といいます）、povo1.0通信サービス契約約款に定めるpovo1.0通信サービス、povo2.0通信サービス契約約款に定めるpovo2.0通信サービス、UQ mobile通信サービス契約約款に定めるUQ mobile通信サービス、UQ mobile通信サービスⅡ契約約款に定めるUQ mobile通信サービスⅡ、FTTHサービス契約約款に定めるFTTHサービス、インターネット接続サービス契約約款に基づき提供するサービス、マンションプラス電話サービス契約約款に定める一般マンションプラス電話サービス、ホームプラス電話サービス契約約款に定めるホームプラス電話サービス、BIGLOBE会員規約に定めるBIGLOBEサービスのご利用料金をKDDIから請求するサービス、ケーブルプラス電話サービス契約約款に定める一般ケーブルプラス電話サービス、ケーブルプラス光電話サービス契約約款に定める一般ケーブルプラス光電話サービス、ケーブルプラスホーム電話サービス契約約款に定めるケーブルプラスホーム電話サービス、株式会社ジュビターテレコムが提供するJ:COM PHONE プラスサービス及びJ:COM PHONE ひかりサービス、並びに当社等が提供するケーブルテレビ事業者の提供する当社所定のケーブルテレビサービス、沖縄通信ネットワーク株式会社が提供するひかりゆいまるサービス

電気サービス：当社等又はau エネルギー&ライフ株式会社がau でんき需給約款若しくはau でんき供給約款に基づき提供するau でんきサービス、又はケーブルプラスでんき需給約款に基づき提供するケーブルプラスでんきサービス、又はでんき契約約款に基づき提供するでんきサービス

都市ガス料金立替払いサービス：当社が東ガスとくとくガスプランfor au立替払いサービス請求規約、カテナガスプラン for au立替払いサービス請求規約、関電ガスなつくプランfor au立替払いサービス請求規約、又はほくでんガスプラン for au立替払いサービス請求規約に基づき提供する都市ガス料金の立替払いサービス

au ID 発行サービス：契約時にau IDを発行する当社所定のサービス

au等契約：au通信サービスの利用に係る契約、povo1.0通信サービスの利用に係る契約、povo2.0通信サービスの利用に係る契約及びUQ mobile通信サービスⅡの利用に係る契約

通信サービス等契約：通信サービス等の利用に係る契約

au ID 設定アプリ：au IDの取得、設定及びau IDによるログインの簡略化等を可能とする当社所定のアプリケーション

特定サービス：当社等サービス及びパートナーサービスの総称

当社等サービス：当社等が提供する当社所定のサービス

パートナーサービス：当社等以外の第三者（以下「パートナー」といいます）が提供するサービス

OpenID：当社がau ID会員に対し発行するau IDに紐付けられた識別符号。なお、当該識別符号は、パートナーサービス毎に異なるものとします。

パスワード：au IDの認証のために必要な半角英数字記号

暗証番号：通信サービスの利用に係る契約の締結時、au ID取得時、au PAYサービス等の当社の提供するサービス申込時等に設定する4桁の数字

第2章 au IDの利用

第3条 au IDの取得、変更等について

お客様は、以下のいずれかの方法により、au IDを取得することができます。

お客様が通信サービス等契約を締結したことを契機として当社が自動的に付与する方法

お客様がau IDサイト又はau ID設定アプリ若しくは当社等サービスのアプリ上で登録することにより取得する方法

お客様がau ID発行サービスの利用に係る契約を締結したことを契機として当社が自動的に付与する方法

au ID会員は、au IDサイトで、取得されたau IDが回線登録IDか回線非登録IDかを確認することができます。

au ID会員は、第1項第1号又は第2号に定める方法により取得したau IDを任意の文字符号に変更することはできません。au IDが回線登録IDであって、au ID会員が以下のいずれかに該当する場合、当社は、当該回線登録IDの符号を、メールアドレスに変更いただくことをお願いする場合があります。この場合は、au ID会員はau IDとしてメールアドレスの登録をau IDサイト又はアプリ上にて行う必要があります。

- 回線登録IDに登録されている通信サービス等契約の全てが解約等により終了した場合
- 回線登録IDに登録されている通信サービス等契約の全てを他のau IDへ登録した場合
- au等契約を締結する以外の方法でau IDを取得した場合
- au ID会員は、第1項第3号に定める方法により付与されたau IDの符号を、当社が別に定める条件に従い、メールアドレスに変更して頂く必要があります。
- au ID会員は、au IDの利用にあたり、パスワードの設定、登録等をau IDサイト又は当社等サービスのアプリ上にて行うものとします。なお、au IDの利用にあたり、パスワードの設定、登録等に加え、暗証番号、又は自己の生体認証装置に生体情報（第4条第2項第2号に定める生体認証を利用する場合に限ります。）の設定、登録等が必要となる場合もあります。

第4条 au IDにより提供される諸機能

au IDは、特定サービス上で共通して利用できるIDです。au IDには、以下の機能が含まれます。

当社等サービス向けログイン機能：au ID会員が、au IDを用いて、当社等サービスへのログインを行うことを可能とする機能

au IDログイン機能：au ID会員が、au IDを用いて、パートナーサービスへのログインを行うことを可能とする機能

ID連携機能：au ID会員が、パートナーサービスにおけるID（以下「パートナーID」といいます）とau IDとを一意に登録することにより、au IDの入力をすることなく、パートナーIDにて当社等サービスを利用することを可能とする機能。なお、au IDとPonta会員IDを連携する機能については、本号に定めるID連携機能とは別の機能であり、当社等及び株式会社ロイヤリティマーケティングが別途定める「au ID/Ponta会員ID連携規約」に従って提供されます。

povo ID連携機能：povo2.0通信サービスを締結しているau ID会員が、au IDとpovo IDを連携することでpovo2.0の回線契約を有した回線登録IDとしてau IDを利用することを可能とする機能。

ID連携機能：au ID会員が、パートナーサービスにおけるID（以下「パートナーID」といいます）とau IDとを一意に登録することにより、au IDの入力をすることなく、パートナーIDにて当社等サービスを利用することを可能とする機能。なお、au IDとPonta会員IDを連携する機能については、本号に定めるID連携機能とは別の機能であり、当社等及び株式会社ロイヤリティマーケティングが別途定める「au ID/Ponta会員ID連携規約」に従って提供されます。

povo ID連携機能：povo2.0通信サービスを締結しているau ID会員が、au IDとpovo IDを連携することでpovo2.0の回線契約を有した回線登録IDとしてau IDを利用することを可能とする機能。

前項に定める諸機能の利用にあたっては、パスワードの設定、登録等に加え、暗証番号及び自己の生体認証装置に生体情報（次号に定める生体認証を利用する場合に限ります。）の設定、登録等が必要となる場合があります。

当社がau IDサイト上で別途定めるセキュリティ強化機能により、Eメール、SMS(Cメール)又はメッセージにより通知したコードをau ID会員に入力いただく等の所定の操作を求める場合があります。また、生体認証装置を有する利用端末において、パスワードを利用せずau ID会員が自己の生体認証装置に登録した生体情報を利用する「生体認証」を利用することができます。生体認証の登録方法、注意点等はau IDサイト内に記載している内容によります。

au ID会員が、複数のau IDを有する場合、au IDサイト内に記載している手続きを行うことによりいずれか1つのau ID（以下「統合au ID」といいます）を選定し、統合au IDに他のau IDに登録されている通信サービスを登録することができます。この場合、登録前に回線登録IDであった他のau IDは、以後、回線非登録IDとなります。なお、一度統合au IDを選定した場合、統合au IDの設定を解除し、若しくは分離することはできません。その他、統合au IDに登録できる通信サービス等契約の数等、詳細な条件は、au IDサイト内に記載している内容によります。

au等契約が登録された回線登録ID（統合au IDも含み、以下「統合先au ID」といいます）に新たにau等契約を登録した場合、当該au等契約が登録されたau IDの登録者情報の全部又は一部は、統合先au IDの登録者情報によって上書きされます。

統合先au IDに新たにau等契約を登録した場合、当該au等契約に係る暗証番号は、統合先au IDの暗証番号によって上書きされます。

統合au IDを選定したau ID会員は、統合au IDに複数の通信サービス等契約が登録されている場合、かかる契約の中から、代表となる契約（以下「代表契約」といいます）を設定することにより、当社等サービスの利用者の請求先となる契約等を選定することができます。この場合、代表契約に設定可能な通信サービス等契約、その他詳細な条件は、au IDサイト内に記載している内容によります。

統合au IDを選定したau ID会員は、統合au IDに複数のau等契約が登録されている場合、かかる契約の中から、代表となるau等契約（以下「選択中の回線」といいます）を設定することにより、特定サービスの利用対象となるau等契約を選定することができます。この場合、選択中の回線の設定に係る詳細な条件は、au IDサイト内に記載している内容によります。

当社は、au ID会員がパートナーサービスにおいて、au IDログイン機能又はID連携機能を利用する場合、当該パートナーサービスを提供するパートナーに対して、au IDに代え、OpenIDを通知します。この場合、当社は、当該会員に係るau IDによる認証の結果、au ID会員がau IDサイトより登録したニックネームをもパートナーに対し通知します。なお、OpenIDは、au ID会員が当該パートナーサービスにおいて、au IDログイン機能又はID連携機能を初めて利用する際に、当社によって付与されます。

au ID会員は、au IDサイトにおいて、自己のau IDに割り当てられたOpenIDを確認することができます。

前項に定めるau IDサイトにおいて、au ID会員は、au IDログイン機能及びID連携機能を用いたパートナーサービスとの連携を解除することができます。また、パートナーサービスにおいて、au IDログイン機能又はID連携機能を当社が別に定める期間利用しない場合、当該パートナーサービスとの連携は自動で解除されます。パートナーサービスとの連携が解除された場合、当該パートナーとの連携の為に割り当てられたOpenIDは失効し、au ID会員は、パートナーサービスの利用がでなくなります。

au ID設定アプリは、KDDIが2017年9月30日より前に発売したAndroid™搭載スマートフォンにおいてのみ利用可能です。

au ID設定アプリの利用に伴い発生する通信料は、お客様に負担して頂きます。

当社は、au Marketの「更新情報」に更新内容の記載をもって、au ID設定アプリの内容、仕様等の全部又は一部を変更し、その提供を中止、又は廃止することができるものとします。当社がau ID設定アプリの内容、仕様等の全部又は一部を変更した場合、お客様は、au ID設定アプリのインストールされたau端末に、変更後のau ID設定アプリが、自動的にダウンロードされインストールされることを承諾するものとします。この場合、変更後のau ID設定アプリのダウンロードに係る通信料は、お客様に負担して頂きます。

au ID設定アプリは、KDDIが2017年9月30日より前に発売したAndroid™搭載スマートフォンにおいてのみ利用可能です。

au ID設定アプリの利用に伴い発生する通信料は、お客様に負担して頂きます。

当社は、au Marketの「更新情報」に更新内容の記載をもって、au ID設定アプリの内容、仕様等の全部又は一部を変更し、その提供を中止、又は廃止することができるものとします。当社がau ID設定アプリの内容、仕様等の全部又は一部を変更した場合、お客様は、au ID設定アプリのインストールされたau端末に、変更後のau ID設定アプリが、自動的にダウンロードされインストールされることを承諾するものとします。この場合、変更後のau ID設定アプリのダウンロードに係る通信料は、お客様に負担して頂きます。

au ID設定アプリは、KDDIが2017年9月30日より前に発売したAndroid™搭載スマートフォンにおいてのみ利用可能です。

au ID設定アプリの利用に伴い発生する通信料は、お客様に負担して頂きます。

当社は、au Marketの「更新情報」に更新内容の記載をもって、au ID設定アプリの内容、仕様等の全部又は一部を変更し、その提供を中止、又は廃止することができるものとします。当社がau ID設定アプリの内容、仕様等の全部又は一部を変更した場合、お客様は、au ID設定アプリのインストールされたau端末に、変更後のau ID設定アプリが、自動的にダウンロードされインストールされることを承諾するものとします。この場合、変更後のau ID設定アプリのダウンロードに係る通信料は、お客様に負担して頂きます。

au ID設定アプリは、KDDIが2017年9月30日より前に発売したAndroid™搭載スマートフォンにおいてのみ利用可能です。

au ID設定アプリの利用に伴い発生する通信料は、お客様に負担して頂きます。

当社は、au Marketの「更新情報」に更新内容の記載をもって、au ID設定アプリの内容、仕様等の全部又は一部を変更し、その提供を中止、又は廃止することができるものとします。当社がau ID設定アプリの内容、仕様等の全部又は一部を変更した場合、お客様は、au ID設定アプリのインストールされたau端末に、変更後のau ID設定アプリが、自動的にダウンロードされインストールされることを承諾するものとします。この場合、変更後のau ID設定アプリのダウンロードに係る通信料は、お客様に負担して頂きます。

au ID設定アプリは、KDDIが2017年9月30日より前に発売したAndroid™搭載スマートフォンにおいてのみ利用可能です。

au ID設定アプリの利用に伴い発生する通信料は、お客様に負担して頂きます。

当社は、au Marketの「更新情報」に更新内容の記載をもって、au ID設定アプリの内容、仕様等の全部又は一部を変更し、その提供を中止、又は廃止することができるものとします。当社がau ID設定アプリの内容、仕様等の全部又は一部を変更した場合、お客様は、au ID設定アプリのインストールされたau端末に、変更後のau ID設定アプリが、自動的にダウンロードされインストールされることを承諾するものとします。この場合、変更後のau ID設定アプリのダウンロードに係る通信料は、お客様に負担して頂きます。

au ID設定アプリは、KDDIが2017年9月30日より前に発売したAndroid™搭載スマートフォンにおいてのみ利用可能です。

au ID設定アプリの利用に伴い発生する通信料は、お客様に負担して頂きます。

当社は、au Marketの「更新情報」に更新内容の記載をもって、au ID設定アプリの内容、仕様等の全部又は一部を変更し、その提供を中止、又は廃止することができるものとします。当社がau ID設定アプリの内容、仕様等の全部又は一部を変更した場合、お客様は、au ID設定アプリのインストールされたau端末に、変更後のau ID設定アプリが、自動的にダウンロードされインストールされることを承諾するものとします。この場合、変更後のau ID設定アプリのダウンロードに係る通信料は、お客様に負担して頂きます。

au ID設定アプリは、KDDIが2017年9月30日より前に発売したAndroid™搭載スマートフォンにおいてのみ利用可能です。

au ID設定アプリの利用に伴い発生する通信料は、お客様に負担して頂きます。

当社は、au Marketの「更新情報」に更新内容の記載をもって、au ID設定アプリの内容、仕様等の全部又は一部を変更し、その提供を中止、又は廃止することができるものとします。当社がau ID設定アプリの内容、仕様等の全部又は一部を変更した場合、お客様は、au ID設定アプリのインストールされたau端末に、変更後のau ID設定アプリが、自動的にダウンロードされインストールされることを承諾するものとします。この場合、変更後のau ID設定アプリのダウンロードに係る通信料は、お客様に負担して頂きます。

au ID設定アプリは、KDDIが2017年9月30日より前に発売したAndroid™搭載スマートフォンにおいてのみ利用可能です。

au ID設定アプリの利用に伴い発生する通信料は、お客様に負担して頂きます。

当社は、au Marketの「更新情報」に更新内容の記載をもって、au ID設定アプリの内容、仕様等の全部又は一部を変更し、その提供を中止、又は廃止することができるものとします。当社がau ID設定アプリの内容、仕様等の全部又は一部を変更した場合、お客様は、au ID設定アプリのインストールされたau端末に、変更後のau ID設定アプリが、自動的にダウンロードされインストールされることを承諾するものとします。この場合、変更後のau ID設定アプリのダウンロードに係る通信料は、お客様に負担して頂きます。

au ID 利用規約

2. 当社は、回線非登録 ID が一定期間利用されていない場合、当該回線非登録 ID については、退会の意思があったものと見做し、当該回線非登録 ID の利用に係る契約を解約できるものとします。

第4章 雑則

第7条 au ID の利用に係る義務

1. au ID 会員は、自己の au ID、OpenID、パスワード、暗証番号、自己の生体認証装置及び秘密の質問に対する答え（以下、au ID、OpenID、パスワード、暗証番号、自己の生体認証装置に登録した生体情報及び秘密の質問に対する答えを総称して「認証情報」といいます）を自らの責任において管理するものとします。当社等は、au ID 会員以外の者が認証情報を使用した場合であっても、その会員による行為と見做して取り扱います。

2. au ID 会員は、パスワード、暗証番号について、生年月日等第三者に推測されやすいものを選挙して設定するものとし、定期的に変更するものとします。なお、自己又は他人の認証情報の不正使用の事実を知った場合には、その不正使用について当社に直ちに連絡するものとします。

3. au ID 会員は、au ID 又はパスワードを入力した端末（以下「利用端末」といいます）を自らの責任において管理するものとします。当社等は、au ID 会員以外の者が利用端末を利用した場合であっても、利用端末により当社サービスを利用した場合は、その au ID 会員による行為と見做して取り扱います。

第8条 禁止行為

1. au ID 会員は、次条第3項に定める登録情報その他当社が入力を求める情報について、虚偽、不正確な内容を登録してはなりません。

2. au ID 会員は、au ID の利用に関して、以下の行為をしてはなりません。

(1) au ID を不正に利用する行為

(2) au ID を第三者に開示、貸与、譲渡、売買、買入等し、又は利用させる行為

(3) au ID の運用・管理を行う為に当社が構築したシステム（以下「本システム」といいます）に対する過度なアクセス等、au ID に係る運用・管理を阻害又は妨害する行為

(4) 特定サービス又は当社等の事業の運営に支障を与える行為、又はそのおそれのある行為

(5) au ID 設定アプリを複写、複製、コピー、販売、取引、転売する行為

(6) au ID 設定アプリを逆コンパイル、リバースエンジニアリング、逆アセンブル、及びソースコードを抽出しようとする行為

(7) au ID 設定アプリに付されている著作権表示及びその他の権利表示を削除又は変更する行為

(8) au ID を許可なくボット、チートツール、その他の技術的手段を用いて利用する行為

(9) 上記各号のほか、当社若しくは第三者に不利益又は損害を与える行為

(10) 法令違反若しくは公序良俗に反する行為又はそのおそれのある行為

(11) その他当社が合理的な理由に基づき不適切と判断する行為

3. 当社は、au ID 会員が本 ID 規約に違反していると判断した場合、当該 au ID 会員による当該 au ID の利用を禁止若しくは制限し、au ID 会員の登録を抹消し、又は、au ID の利用に係る当社との契約を解約することができるものとします。

第9条 個人情報等の取扱い

1. au ID 会員は、au ID の利用にあたって、氏名、ニックネーム、住所、生年月日、性別、連絡先電話番号、携帯電話番号、メールアドレス、クレジットカード番号（以下、併せて「au ID の登録情報」といいます）を登録するものとします。また、au ID の登録情報に変更が生じた場合、当社等の所定の方法により、速やかに変更後の内容を登録するものとします。

2. au ID 会員が前項の登録を怠り、若しくは登録の内容を誤ったことにより、au ID 会員が不測の不利益を被ったとしても、当社の責に帰すべき事由による場合を除き、当社はその責任を一切負いません。また、当社は、これにより当社が au ID 会員宛てに発送・発信した通知が到達せず、又は遅着した場合、当該通知は通常到達すべきときに au ID 会員に到達したものと見做すことができます。

3. 当社は、au ID の登録情報（以下、「登録情報」といいます）に加えて、第4条第1項各号又は第2項に定める au ID の諸機能、その利用履歴（第4条第1項各号又は第2項に定める au ID の諸機能、及びその利用履歴を併せて「au ID 利用情報等」といいます）、及び SMS (C メール) 又は +メッセージ送信結果として判明する通信キャリアの情報に係る情報（au ID 利用情報等に係る情報を含め、以下「利用履歴情報」といいます）を取得するものとします。

4. 当社は、登録情報及び利用履歴情報を、「KDDI プライバシーポリシー（<https://www.kddi.com/corporate/kddi/public/privacy/>）（以下、プライバシーポリシーといいます）」に従って取り扱うものとします。

第10条 責任の制限

1. 当社は、au ID 又は au ID 設定アプリの利用に際し、当社の責に帰すべき事由により au ID 会員に生じた損害について、1,295 円を上限として、当該損害を補償するものとします。但し、当社の故意又は重大な過失に基づく損害については、当該上限を適用しないものとします。

2. 特定サービスの提供条件は、それぞれの特定サービスの提供に係る利用規約に基づき、au ID 会員と当該特定サービスの事業者との間で成立する契約によるものとします。当社等は、当社等の責に帰すべき事由による場合を除き、パートナーサービスに関し、一切の責任を負いかねます。

3. au ID 会員は、au ID の利用に関連して生じたあらゆる責任、損害又は費用（弁護士費用を含みます）に関して第三者からなされる請求について、当社等の責に帰すべき事由がある場合を除き、当社等（その関係会社を含みます）に一切の負担又は損害を生じさせないものとし、au ID 会員が自らの責任と負担により解決するものとします。

4. 当社は、本システムの保守を行う場合、又は不可抗力事由によるやむを得ない場合（火災、停電、その他の自然災害に加え、ウイルスやマルウェアなど第三者による妨害行為により、当社に、本システムが au ID に係る諸機能を提供しえない状態となった場合を含みます）に、au ID 会員に事前の通知を行うことなく、au ID 会員による au ID の利用等を一時的に停止することができます。

5. 当社は、au ID が不正に利用された場合（ボット、チートツール、その他の技術的手段を用いて不正に利用されたことが合理的に疑われる場合を含みます）その他のやむを得ない事由が生じた場合、au ID 会員に対し、当該 au ID のパスワードの変更を要請することがあります。この場合、当該 au ID 会員は、当該要請に従って頂きます。当該要請に従いパスワードを変更するまでの間、当社は、当該 au ID の利用を停止します。なお、当社は、当該 au ID の利用を停止する前に、パスワードの変更の要請を通知します。但し、緊急やむを得ない場合はこの限りではありません。

6. 前項の場合において、当社は、au ID の不正利用に起因して au ID 会員に生じた損害につき、当社の責に帰すべき事由による場合を除き、一切責任を負わないものとします。

第11条 その他

1. 当社は、au ID の利用にあたって au ID 会員が登録した携帯電話番号又はメールアドレス宛てに SMS (C メール)、+メッセージ又はメールを使用したアンケートを実施することができるものとします。また、当社は、当該携帯電話番号又はメールアドレス宛てに当社又は第三者の提供する商品又はサービスに関する広告等の情報その他当社が au ID 会員にとって有益と考える情報（以下「広告情報等」といいます）を配信することもできるものとします。なお、当社は、au ID 会員に対し、広告情報等の内容及び広告情報等を利用してなされた一切の取引及び行為について、当社の責に帰すべき事由による場合を除き、一切の責任及び義務を負わないものとします。

2. 当社が au ID 会員に対して通知を行う場合、au ID サイトに通知事項を掲載（通知事項を記載した Web ページへのリンクを貼る行為を含みます）、又は au ID 会員に対し個別の通知を行うものとします。個別の通知を行う場合、当社は、au ID 会員が au ID の利用にあたって登録した携帯電話番号又はメールアドレス等の連絡先に通知を行えば足りるものとします。

3. 本 ID 規約は、日本法に従って解釈・適用されるものとします。本 ID 規約に関連して、当社と au ID 会員の間で生じた紛争については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

附則（2018年1月16日）

本 ID 規約第9条第5項は、au ID 会員が、2018年1月16日に改定した本 ID 規約又は「プライバシーポリシー」のいずれかに同意するまでは、以下の規定に読み替えて適用するものとします。

「5. 当社は、登録情報及び利用履歴情報を、au ID 会員の管理、au ID に係る諸機能の提供、利用分析、au ID に係るサービスの品質向上、当社等が au ID 会員にとって有益と考える情報の配信（第11条第1項及び第2項に定める情報の配信を含みます）等の目的で取り扱うものとします。」

附則（2018年11月28日）

本 ID 規約は、「au ID 利用規約」又は au HOME 向けの「ID 利用規約」を改定するものであり、2018年11月28日より前に「au ID 利用規約」又は au HOME 向けの「ID 利用規約」に同意頂いた会員についても、本 ID 規約を適用するものとします。

附則（2019年6月24日）

本 ID 規約は、「Wow!ID」を「au ID」に名称変更ことに伴い「ID 利用規約」を改定するものであり、2019年6月24日より前に「ID 利用規約」に同意頂いた会員についても、本 ID 規約を適用するものとします。Wow!ID 会員は 2019年6月24日以後、au ID 会員として本 ID 規約の定めるところに従い au ID をご利用頂きます。

附則（2019年10月10日）

この変更規定は、2019年10月10日から適用されるものとします。

附則（2019年12月19日）

この変更規定は、2019年12月19日から適用されるものとします。

附則（2020年3月26日）

変更後の規定は、2020年3月26日から適用されるものとします。

附則（2020年5月21日）

変更後の規定は、2020年5月21日から適用されるものとします。

附則（2020年10月1日）

変更後の規定は、2020年10月1日から適用されるものとします。

附則（2021年3月23日）

変更後の規定は、2021年3月23日から適用されるものとします。

附則（2021年9月2日）

変更後の規定は、2021年9月2日から適用されるものとします。

附則（2021年9月29日）

変更後の規定は、2021年9月29日から適用されるものとします。

附則（2022年5月17日）

変更後の規定は、2022年5月17日から適用されるものとします。

附則（2022年7月1日）

変更後の規定は、2022年7月1日から適用されるものとします。

附則（2022年12月6日）

変更後の規定は、2022年12月6日から適用されるものとします。

附則（2023年5月16日）

変更後の規定は、2023年5月16日から適用されるものとします。

附則（2023年9月19日）

変更後の規定は、2023年9月19日から適用されるものとします。

ウイルスバスター for au 利用規約

本書には、お客様への注意事項、「ウイルスバスター for au」の使用許諾契約書に続いて、プライバシーと個人データの収集に関する規定が記載されています。

「ウイルスバスター for au」のご使用前に必ずお読みください

下記の使用許諾契約書（以下「本契約」といいます）は、お客様とトレンドマイクロ株式会社（以下「トレンドマイクロ」といいます）との間の契約です。「ウイルスバスター for au」（第4条所定のサポートサービスの一環として提供される一切のパターンファイル、検索エンジンおよびプログラムモジュール等、ソフトウェア製品に付属するツール等のうち専用の使用許諾契約書がないものを含みます。以下、総称して「本ソフトウェア」といいます。）をインストール、複製、または使用することによって、お客様は本契約のすべての条件に同意されたことになります。また、お客様が未成年の場合は、保護者の同意を得たうえで本ソフトウェアをご使用ください。

使用許諾契約書

第1条 使用権の許諾

トレンドマイクロは、本契約記載の条件に従い、本条に定めるハードウェア（リース物件またはレンタル物件を含みます）におけるセキュリティ対策を目的とした以下の非独占的、再許諾不可能かつ譲渡不可能な権利をKDDI株式会社（KDDI株式会社所定のCATV会社を含みます。以下総称して「KDDI」といいます）または沖縄セルラー電話株式会社（以下「沖縄セルラー」といいます）の提供する所定のサービス（以下「本件サービス」といいます）に加入されたお客様に対して許諾します。

(a) 本件サービスの加入期間中、本件サービスの適用対象となるハードウェア上で本ソフトウェアをKDDIまたは沖縄セルラーが許諾する数を限度に使用する権利。

第2条 著作権等

- 本ソフトウェアおよびマニュアル等本ソフトウェアに関連する一切のドキュメント（以下、総称して「ドキュメント」といいます）に関する著作権、特許権、商標権、ノウハウおよびその他のすべての知的財産権はトレンドマイクロまたはトレンドマイクロにこれを許諾した第三者へ独占的に帰属します。
- お客様は、トレンドマイクロの事前の書面による承諾を得ることなく、本ソフトウェアおよびドキュメントを第三者へ賃貸、貸与または販売できないものとし、かつ、本ソフトウェアおよびドキュメントに担保権を設定することはできないものとします。また、お客様は、トレンドマイクロの書面による事前の承諾を得ることなく、お客様の顧客サービス（有償・無償を問わず営利目的または付加価値サービスとして第三者へ提供されるサービス）の一環として本ソフトウェアを使用することはできないものとし、
- お客様は、本ソフトウェアにつき、改変、リバースエンジニアリング、逆コンパイルまたは逆アセンブル（以下、総称して「改変等」といいます）を行うことはできないものとします。お客様の改変等に起因して本ソフトウェアに何らかの障害が生じた場合、トレンドマイクロは当該損害に関して一切の責任を負わないものとします。
- お客様は、本ソフトウェアに関する客観性を欠いた実験方法によるパフォーマンステストまたはベンチマークテストの結果を、トレンドマイクロの事前の書面による承諾を得ることなく、公表してはならないものとします。

第3条 保証および責任の限定

- トレンドマイクロは、本ソフトウェア、ドキュメントについて、瑕疵のないことを保証するものではなく、これらについて瑕疵があった場合にお客様に生じた損害について、トレンドマイクロの故意または重大過失に起因する場合を除き、トレンドマイクロは責任を負わないものとします。トレンドマイクロは、第4条に定義されるサポートサービスに関して、その利用により、お客様の使用するハードウェアの問題の解決、パフォーマンスの向上その他の特定の状態が作出されることを保証せず、また、サポートサービスがお客様の特定の目的に適合することを保証しません。トレンドマイクロは、お客様がサポートサービスを利用したこと、またはサポートサービスを利用できなかったことに起因するお客様の損害につき、トレンドマイクロに故意または重大過失のある場合を除き、一切の補償をいたしません。
- KDDI または沖縄セルラーが定める手続によるユーザ登録もしくはユーザ登録変更の届出がなされない場合またはその内容に不備がある場合、トレンドマイクロからお客様への通知、郵送およびその他のコンタクトの不達により生じる不利益および損害については、トレンドマイクロの故意または重大過失に起因する場合を除き、お客様の責任とさせていただきます。
- 本ソフトウェア、プロダクトキーの譲渡に関連して生じたトラブルについても、トレンドマイクロの故意または重大過失に起因する場合を除き、トレンドマイクロは一切の責任を負いません。また、トレンドマイクロは、合理的な理由に基づき不正な手段もしくは目的による譲渡または入手につき、使用停止の措置を講ずる場合があります。この場合、トレンドマイクロは、トレンドマイクロの故意または重大過失に起因する場合を除き、使用停止の措置により発生した損害について一切の補償をいたしません。お客様が期待する成果を得るためのソフトウェアプログラム（本ソフトウェアを含みます）がこれに限られませんが、選択、導入、使用および使用結果につきましては、トレンドマイクロの故意または重大過失に起因する場合を除き、お客様の責任とさせていただきます。本ソフトウェアもしくはドキュメントの使用、サポートサービスならびにサポートサービスの提供を受けられないことに起因してお客様またはその他の第三者に生じた損害、付随的損害、逸失利益、予見の有無を問わず特別の事情から生じた損害およびデータ・プログラムなどの無体物の損害、ならびに第三者からの損害賠償請求に基づくお客様の損害に関して、トレンドマイクロの故意または重大過失に起因する場合を除き、トレンドマイクロは一切の責任を負いません。
- 本契約のもとで、理由の如何を問わずトレンドマイクロがお客様またはその他の第三者に対して負担する責任の総額は、本契約のもとでお客様が実際に支払われた対価の100%を上限とします。ただしトレンドマイクロに故意または重大過失がある場合はこの限りではありません。

第4条 サポートサービス等

- トレンドマイクロは、KDDI または沖縄セルラーが定める手続に従い、本件サービスに加入されたお客様に対し、本件サービスへの加入期間中、以下に記載されるサポートサービス（以下「サポートサービス」といいます）を提供いたします。ただし、インターネット接続環境またはメールアドレスをお持ちでないお客様においては、一部ご利用いただけないサポートサービスがあります。
 - 各種パターンファイル、検索エンジンおよび各種プログラムモジュールのアップデートサービス
 - メールまたはチャット等による問い合わせ対応サポートサービスの提供に関するトレンドマイクロの義務は、本条1項記載の内容に関する合理的な努力を行うことに限られるものとします。また、トレンドマイクロは、以下のいずれかに該当する場合お客様に対してサポートサービスを提供する義務を負わないものとします。
 - KDDI または沖縄セルラーが定める手続に従って本件サービスへの加入手続きを行っていないお客様
 - 前項所定の変更の届出を行っていないお客様または当該変更の届出に不備があるお客様
 - KDDI または沖縄セルラー所定のサービスへの契約を終了または契約を解除されたお客様
 - 本ソフトウェア、トレンドマイクロが対応外とするオペレーティングシステム（日本語版以外のオペレーティングシステムを含みます）上で使用しているお客様
 - 日本語以外の言語にて問い合わせされたお客様
 - KDDI または沖縄セルラーにおいて所定のサービスへの登録情報が確認できないお客様
- トレンドマイクロは、以下の場合、お客様へ事前の通知を行うことなくサポートサービスの提供を停止できるものとします。
 - システムの緊急保守を行うとき
 - 火災、停電等その他不可抗力および第三者による妨害等により、システムの運用が困難になったとき
 - 天災またはこれに類する事由により、システムの運用ができなくなったとき
 - 上記以外の緊急事態により、トレンドマイクロがシステムを停止する必要があると判断するとき
- 前各項にかかわらず、トレンドマイクロは、本ソフトウェアおよび一部の対応オペレーティングシステム上で使用される本ソフトウェアについて同社の裁量でサポートを終了することができるものと、同社がサポートを終了した本ソフトウェアについては、お客様に対するサポートサービスを提供

する義務を負わないものとします。なお、サポート終了製品は、別途サポートサービスの一環として配信するWeb ページ、電話またはファックスを介する問い合わせによってご案内いたします。

- トレンドマイクロは、サポートサービスの過程でお客様から頂いたご意見、感想等（文章および音声を含みますがそれらに限られません。ただし第7条で定義する個人情報を除きます。以下「ご意見等」といいます）をトレンドマイクロの製品およびサービスの改善およびマーケティング活動を目的として利用いたします。お客様は、トレンドマイクロに対して、当該ご意見等を全世界において無償で非独占的に使用する（加工、抜粋、複製、公開、翻訳等を含みます）権利を許諾するものとし、かつトレンドマイクロに対して当該ご意見等にかかる著作権、著作人格権等の知的財産権を行使しないものとします。

第5条 契約の解除

- お客様が本契約に違反した場合、トレンドマイクロは本契約を解除することができます。この場合、お客様は、本ソフトウェアおよびドキュメントを一切使用することができません。
- 前項に定める他、お客様が、暴力団、暴力団員、暴力団員でなくなった時から5年を経過しない者、暴力団準構成員、暴力団関係企業、総会屋等、社会運動等標榜ゴロもしくは特殊知能暴力集団等その他これらに準じる者（以下「暴力団等」という）、に該当する、または次の各号のいずれかに該当することが判明した場合、トレンドマイクロは本契約を解除することができます。
 - 暴力団等が経営を支配しているまたは経営に実質的に関与していると認められる関係を有すること
 - 自己もしくは第三者の不正の利益を図る目的または第三者に損害を加える目的をもってするなど、不当に暴力団等を利用していると認められる関係を有すること
 - 暴力団等に対して資金等を提供し、または便宜を供与するなどの関与をしていると認められる関係を有すること
 - 役員または経営に実質的に関与している者が、暴力団員等と社会的に非難されるべき関係を有すること
- 前各項に定める他、お客様が自らもしくは第三者を利用して、次の各号に掲げるいずれかの行為を行う、またはその恐れがあるとトレンドマイクロが判断した場合、トレンドマイクロは本契約を解除することができます。
 - 詐術、暴力的行為、または脅迫的言辞を用いる行為
 - 違法行為または不当要求行為
 - 業務を妨害する行為
 - 名譽や信用等を毀損する行為
 - その他前各号に準ずる行為
- お客様は、本ソフトウェア、ドキュメントおよびその他の複製物を破壊することにより本契約を終了させることができます。この場合、本契約のもとでお客様が支払われた一切の対価は返還いたしません。
- 本契約が終了するかまたは解除された場合、お客様は、本ソフトウェア、ドキュメントおよびその他の複製物をトレンドマイクロへ返却するかまたは破壊するものとします。

第6条 守秘義務

- お客様は、(a)本契約記載の内容、および、(b)本契約に関連して知り得た情報（プロダクトキー、サポートサービスに関連する電話番号、メールアドレス、URL、ID、パスワード、更新キー、IP アドレスならびにサポートサービスの一環としてコンピュータネットワークを介して提供される情報内容を含みます）につき、トレンドマイクロの書面による承諾を得ることなく第三者（KDDI、沖縄セルラーを除きます）に開示、漏洩しないものとし、かつ、本契約における義務の履行には権利の行使に必要な場合を除き方法を問わず利用しないものとします。ただし、国家機関の命令による開示等正当なる事由に基づき開示する場合はこの限りではありませんが、その場合にはトレンドマイクロに対して速やかに事前の通知を行うものとします。
- 前項にかかわらず、以下各号に定める事項については前項の適用を受けないものとします。
 - 開示を受けた時に既に公知である情報
 - 開示を受けた後、自己の責によらず公知となった情報
 - 開示を受ける前から、自己が適法に保有している情報
 - 第三者から、守秘義務を負わず適法に入手した情報
 - トレンドマイクロの機密情報を使用または参照することなく独自に開発した情報

第7条 個人情報の取り扱いについて

- お客様は、トレンドマイクロがお客様に関する以下の個人情報（変更後の情報を含みます。以下「個人情報」といいます。）につき必要な保護措置を講じたうえで収集、利用し、同社が定める相当な期間保有することに同意します。なお、トレンドマイクロは、お客様が製品利用の過程でトレンドマイクロのサーバに任意に保存した個人情報（個人番号、いわゆるマイナンバー等を含みます）を利用することはありません。
 - 氏名、会社名、性別、生年月日、住所、電話番号、メールアドレス等、KDDI および沖縄セルラーまたはお客様が第4条1項、2項および3項に基づき届け出た事項
 - 購入記録、ユーザ登録日、契約の更新状況、対価の振込に関連して開示された情報等、お客様とKDDI および沖縄セルラーとの契約にかかわる事項
 - お客様から提出された問い合わせ内容およびアンケートへの回答内容等
- お客様は、トレンドマイクロが、コンピュータまたはインターネットに関連するセキュリティ対策製品およびサービスの提供に関する事業において、以下の目的のために個人情報を利用することに同意します。
 - サポートサービスの提供
 - 契約の更新案内
 - トレンドマイクロの製品およびサービスに関する案内
 - トレンドマイクロの製品およびサービスに関連のある他社製品の案内
 - セキュリティに関する情報の提供
 - アンケート調査ならびにキャンペーン、セミナーおよびイベントに関する案内等のマーケティング活動
 - トレンドマイクロの製品またはサービスの開発を目的とした分析および調査ならびにベータテストの依頼に関する通知
- お客様は、トレンドマイクロが前項の各行為を実施するにあたり、安全管理措置を講じたうえで同社の子会社および海外関連会社、販売代理店ならびに代行業者に対して本条第1項所定の個人情報を提供、もしくは、個人情報保護に関する契約書を締結したうえで個人情報の取り扱いの全部または一部を委託する場合がありますことに同意します。
- お客様は、トレンドマイクロに対し、自己に関する客観的な事実に基づく個人情報に限り、開示するよう請求することができるものとします。なお、開示請求にあたっては、別途トレンドマイクロが定める手続および手数料が必要となります。開示請求により万一個人情報の内容が不正確または誤りであることが判明した場合、トレンドマイクロは速やかに当該個人情報の訂正もしくは削除に応じるものとします。
- 前項にかかわらず、以下のいずれかに該当する情報については、トレンドマイクロは開示の義務を負わないものとします。
 - トレンドマイクロまたは第三者の営業秘密またはノウハウに属する情報
 - 保有期間を経過し、現にトレンドマイクロが利用していない情報
 - 個人に対する評価、分類、区分に関する情報
 - トレンドマイクロ内部の業務に基づき記録された情報であって、これが開示されると業務の適正な実施に著しい支障をきたす恐れがあると同社が判断した場合
- お客様は、トレンドマイクロが本条2項に記載される目的のために個人情報を利用することにつき利用停止、第三者への提供の停止および利用目的の通知依頼の申し出を行うことができるものとし（但し、法令等に定めがある場合を除く）、同社は当該申し出を受けた場合利用停止の措置を講じるものとします。ただし、サポートサービスの提供または更新案内等、業務上必要な通知に同封または併記される製品案内、通知等についてはこの限りではありません。当該申し出に関するお問い合わせ、および個人情報取り扱いに関するお問い合わせ先は、トレンドマイクロ リスク管理室室長（兼個人情報保護管理責任者）privacy@trendmicro.com となります。
- お客様は、本契約が終了するかまたは解除された場合であっても、その理由の如何を問わず本条1項に基づきユーザ登録を行った事実に関する個人情報がトレンドマイクロにより一定期間利用される

ウイルスバスター for au 利用規約

- ことに同意します。
- お客様が本案にご同意いただけない場合、本ソフトウェアに関する一部もしくは全部のサービス提供等を受けられない場合があります。

第 8 条 契約期間

- 本契約の有効期間は、お客様が本契約に同意した日から、第 5 条に基づき本契約が終了するかまたは解除されるまで、もしくは本件サービスの加入期間が終了するときまで有効です。
- KDDI または沖縄セルラー所定の手続を行うことにより本件サービスの加入期間を更新されたお客様には、本契約の最新の内容が適用されます。

第 9 条 一般事項

- 理由の如何を問わず、トレンドマイクロからお客様へ通知、郵送およびその他のコンタクトを行う場合（サポートサービス提供の場合を含みますがこれに限られません）、当該通知、郵送およびコンタクト等の宛先は日本国内に限定されるものとします。
- お客様は、本ソフトウェアおよびそれらにおいて使用されている技術（以下「本ソフトウェア等」という）が、外国為替および外国貿易法、輸出貿易管理令、外国為替令および省令、ならびに、米国輸出管理規則に基づく輸出規制の対象となる可能性があること、ならびにその他の国における輸出規制対象品目に該当している可能性があることを認識の上、本ソフトウェア等を適正な政府の許可なくして、禁輸国もしくは貿易制裁国の企業、居住者、国民、または、取引禁止者、取引禁止企業に対して、輸出もしくは再輸出しないものとします。
- お客様は、本ソフトウェア等に関連した米国輸出管理法令の違法行為に対して責任があることを認識の上、違法行為が行われないよう、適切な手段を講じるものとします。
- 本契約の締結により、お客様が米国により現時点で禁止されている国の居住者もしくは国民ではないこと、および本ソフトウェア等を受け取ることが禁止されていないことを認識し、お客様は、本ソフトウェア等を、大量破壊を目的とした、核兵器、化学兵器、生物兵器、ミサイルの開発、設計、製造、生産を行うために使用しないことに同意するものとします。
- 本契約は、本ソフトウェアの使用許諾に関し、本契約の締結以前にお客様とトレンドマイクロとの間になされたすべての取り決めに優先して適用されます。なお、トレンドマイクロは、お客様へ事前の通知を行うことなく本契約の内容、サポートサービスの内容およびその他の告知内容を変更できるものとします。お客様は最新の契約内容をトレンドマイクロの Web サイトから確認できます。当該変更は、トレンドマイクロの独自かつ単独の裁量でなされますが、本件サービス契約期間が有効期間中であるお客様については、トレンドマイクロの Web サイトで最新の契約が掲載されてから 30 日後に有効になるものとします。本契約の変更がなされた場合には、従前の契約の内容、サポートサービスの内容および告知内容は無効となり、最新の契約の内容、サポートサービスの内容および告知内容が適用されるものとします。本件サービス契約期間が有効期間中であるお客様が変更後の条件に同意できない場合、お客様は本ソフトウェアを使用することはできません。
- お客様は、トレンドマイクロからお客様への通知が電子媒体かつ電子的手段（POPUP 等を含みます）によってなされる場合があること、および、当該通知を受領することに同意するものとします。
- 本ソフトウェアにおいて有害サイトのアクセス規制機能、フィッシング対策機能等を有する場合、お客様が当該機能を有効にし、Web ページにアクセスした場合、以下の事象がおこることがあります。
 - お客様がアクセスした Web ページの Web サーバ側の仕様が、お客様が入力した情報等を URL のオプション情報として付加し Web サーバへ送信する仕様の場合、URL のオプション情報にお客様の入力した情報（ID、パスワード等）などを含んだ URL がトレンドマイクロ（本号においてその子会社を含みます）のサーバに送信されます。この場合、トレンドマイクロでは、お客様がアクセスする Web ページの安全性の確認のため、これらのお客様より受領した情報にもつき、お客様がアクセスする Web ページのセキュリティチェックを実施します。
- トレンドマイクロは、緊急またはやむを得ないと判断する場合に限り、お客様に事前の通知をすることなく、お客様がご利用する本ソフトウェアのアップデートを KDDI または沖縄セルラーへ依頼し、KDDI または沖縄セルラーより強制的に最新バージョンへアップデートが行われる場合があります。
- 第 2 条、第 3 条、第 6 条および本案の各定めは、本契約が解除、期間の満了またはその他事由によって終了したときであってもなおその効力を有するものとします。
- 本契約は、日本国法に準拠するものとします。本契約に起因する紛争の解決については、東京地方裁判所を第一審の専属的合意管轄裁判所とします。

トレンドマイクロ株式会社

プライバシーと個人データの収集に関する規定

トレンドマイクロ製品の一部の機能は、お客様の製品の利用状況や検出にかかわる情報を収集してトレンドマイクロに送信します。この情報は一定の管轄区域内および特定の条件において個人データとみなされることがあります。トレンドマイクロによるこのデータの収集を停止するには、お客様が関連機能を無効にする必要があります。本ソフトウェアにより収集されるデータの種類と各機能によるデータの収集を無効にする手順については、次の Web サイトを参照してください。
<https://success.trendmicro.com/data-collection-disclosure>

重要

データ収集の無効化やデータの削除により、製品、サービス、または機能の利用に影響が発生する場合があります。本ソフトウェアにおける無効化の影響をご確認の上、無効化はお客様の責任で行っていただくようお願いいたします。

トレンドマイクロは、次の Web サイトに規定されたトレンドマイクロのプライバシーポリシーに従って、お客様のデータを取り扱います。

https://www.trendmicro.com/ja_jp/about/legal/privacy-policy-product.html

トレンドマイクロ株式会社

著作権について

本書に関する著作権は、トレンドマイクロ株式会社へ独占的に帰属します。トレンドマイクロ株式会社が事前に承諾している場合を除き、形態および手段を問わず、本書またはその一部を複製することは禁じられています。本ドキュメントの作成にあたっては細心の注意を払っていますが、本書の記述に誤りや欠落があってもトレンドマイクロ株式会社はいかなる責任も負わないものとします。本書およびその記述内容は予告なしに変更される場合があります。

商標について

TREND MICRO およびウイルスバスターは、トレンドマイクロ株式会社の登録商標です。本書に記載されている各社の社名、製品名およびサービス名は、各社の商標または登録商標です。Copyright © 2019 Trend Micro Incorporated. All rights reserved.